

第20回統一地方選挙 連合滋賀推薦決定候補者一覧



※各候補者の詳細情報など連合滋賀ホームページよりご覧いただけます→

滋賀県議会議員選挙 3月31日(金)~4月9日(日)

大津市		彦根市・犬上郡		米原市		長浜市		草津市	
かわい昭成 現1期	佐口よしえ 現1期	野田たけひろ 新人	赤井康彦 新人	角田こうや 現2期	宮本てつや 新人	山本 正 現3期			
守山市		近江八幡市・竜王町		東近江市・日野町・愛荘町		湖南市		甲賀市	
小川やすえ 現1期	もりしげ重則 新人	今江まさひこ 現4期	坂口あきのり 新人	山本みえこ 新人	塚本しげき 現2期	田中松太郎 現2期			

各市・町議会議員選挙 市 4月16日(日)・町 4月18日(火)~4月23日(日)

大津市						
奥村いさお 現5期	草川ただし 現4期	ふなもと力 現4期	田中ともひさ 現1期	かだ修平 現2期	ひぐま慈 新人	中田よしひさ 新人
彦根市		栗東市		近江八幡市		日野町
森田みつる 現1期	やぶき安子 現6期	田村たかみつ 現5期	上石田まさこ 元職	谷口りつか 新人	山本英夫 現7期	山本ひでき 現1期

連合滋賀活動アルバム



連合緊急アクション全国キャラバン in 滋賀
2023年1月29日~31日

「くらしをまもり、未来をつくる」を合言葉に
賃上げ表現・くらし支援を訴える



2023春季生活闘争闘争開始宣言集会
2023年2月3日

2023春闘のスタートに向けて
「人への投資」で経済の好循環を



賃金学習会 草津・彦根
2023年2月14日・15日

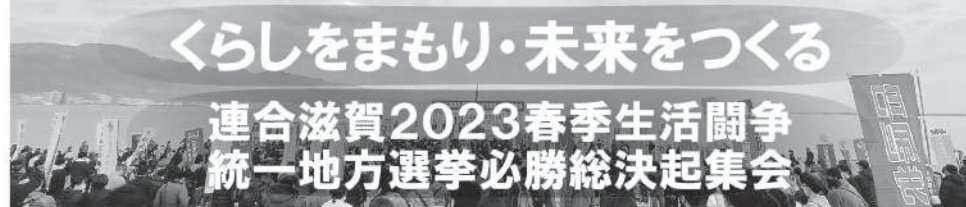
中小労組を中心に、春闘方針や
賃金分析システムについて解説



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2023年3月17日
連合滋賀 第309号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・白木 宏司
編集・池内 正博
(定価 1部61円)
印刷 エムメディア株式会社



『くらしをまもり未来をつくる』のスローガンのもと、働く仲間約1,500人が集まり、前半は春季生活闘争について、後半は統一地方選挙について団結する決起集会を大津市なぎさ公園市民プラザにて3月4日(土)に開催しました。
冒頭、主催者代表挨拶を連合滋賀白木宏司会長が述べ開会、激励に、斎藤アレックス衆議院議員、徳永久志衆議院議員、嘉田由紀子参議院議員にお越しいただき、ご挨拶をいただきました。
その後、JP労組の山本洋子氏、私鉄県協の竹内幸男氏、中小労組を代表し中尾喜享氏、パート・非正規を代表し番場由紀子氏がそれぞれ2023春闘に向けて情勢報告・決意表明を述べ、連合滋賀女性委員会の相澤三千代女性委員長が集会アピールを提案し、採択されました。

また、4月に予定されている統一地方選挙、9月・10月に予定される各市町議会議員選挙に向けて、県議選14名、市町議選19名の連合滋賀推薦候補者紹介を行いました。
集会後は、参加者全員でデモ行進を実施、滋賀県で働く仲間へ広く訴えかけました。



ガンパロウ三唱



連合滋賀 白木宏司 会長
斎藤アレックス 衆議院議員
徳永久志 衆議院議員
嘉田由紀子 参議院議員
JP労組 山本洋子
私鉄県協 竹村幸男
中小労組代表 中尾喜享
パート・非正規代表 番場由紀子
女性委員会 相澤三千代 委員長

3月8日は国際女性デー 平和で格差のない社会をめざそう!

ジェンダー平等社会の実現に向けて、3月4日(土)の春闘決起集会後、連合滋賀女性委員会を中心となり、国際女性デーの街頭行動を実施しました。
ジェンダーハラスメントの撲滅や女性を意思決定のプロセスに入れていくことを訴えるチラシや、ジェンダー平等の言葉に触れてもらう、自作のクロスワードクイズを道行く人に配布するとともに、街頭でのマイクアピールを行いました。

WEBでも回答できます!

ジェンダー平等クロスワードクイズ

回答を応募すると抽選で100名に1,000円QUOカード

経営労働フォーラム2023

日本の未来の大きなターニングポイント！労使でしっかりと未来に向けた協議を！

2023春季生活闘争に向けて、滋賀県、(一社)滋賀経済産業協会、連合滋賀で共催している「経営労働フォーラム2023」を2月2日(木)にクサツエストピアホテルにて開催しました。

連合から「2023年版連合白書について」、日本経済団体連合会から「2023年版経営労働政策特別委員会報告について」それぞれ解説が行われました。考えに隔たりのある部分もありましたが、どちらの解説でも共有認識として、2023春季生活闘争での賃上げが日本の未来の大きなターニングポイントであることを述べられ、物価高に対して、適正な価格転嫁を行っていくことや、賃上げを行っていくことが必要であることを強調されました。

また、解説後は、時局講演「職場におけるハラスメントの防止について」、実際に起こりそうなハラスメント事例等を用いながら、説明をいただきました。特に、無自覚で行ってしまうハラスメント等注意が必要であり、個々が持っているアンコンシャス・バイアスによる要因が多いことを述べられました。



「2023年版連合白書について」
連合 総合政策推進局
仁平章 総局長



「2023年版経営労働政策特別委員会報告について」
経団連 労働政策本部
平田充 総括主幹



「職場におけるハラスメントの防止について」
株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
シニアコンサルタント キヤマこうぞう 氏

びわ湖と環境を考える地域フォーラムを滋賀県と開催 マザーレイクゴールズ・しがCO₂ネットゼロ社会の実現について学ぶ！

連合滋賀と滋賀県は2021年11月に働き方改革など、連携し重点的に取り組む5項目について、「誰もが安心して働くことができる社会づくり」共同宣言を发出了しました。その取り組みの第一歩として、琵琶湖をはじめとする自然環境を守り、気候変動や自然災害に強い持続可能な社会をつくるため、気候変動の危機感を共有するとともに、「琵琶湖」を切り口とする地域レベルでの取り組みを通じ、環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築を目指すことを目的に、2月4日(土)に「びわ湖と環境を考える地域フォーラム」をアクティ近江八幡にて90名が参加のもと開催しました。



「連合のSDGs・環境の取り組み」
連合総合政策推進局
富田珠代 総局長



「マザーレイクゴールズ(MLGs)が目指す持続可能な社会」
滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課
中嶋洋一 課長



「しがCO₂ネットゼロ社会づくりの推進について」
滋賀県総合企画部CO₂ネットゼロ推進課
平田雅史 課長

マザーレイクゴールズとは？



MLGsは、琵琶湖版のSDGsとして、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、独自に13のゴールを設定しています。琵琶湖を守るための自発的、主体的な取組を通じてSDGsをより自分ごととして捉えられよう、SDGsと地域・現場の取組との間におく目標となっています。



特設サイト



滋賀県においても、猛暑や豪雨、大雪など、地球温暖化の影響と考えられる様々な現象が起きています。地球温暖化によるリスクを減らすためには、温暖化の原因である温室効果ガス(主にCO₂)を削減し、「人間の活動により排出されるCO₂の量」と「森林などが吸収するCO₂の量」がほぼ同じ状態である「CO₂ネットゼロ」を目指す必要があります。滋賀県では、2050年までに「CO₂ネットゼロ」の達成を目指すとともに、県民生活の豊かさ、地域や経済の持続的な発展などにもつなげる「CO₂ネットゼロ社会づくり」を推進しています。



特設サイト

生活困窮者支援に関する要請行動

2月3日に、(金)長期化しているコロナ禍に物価上昇が加わり、弱い立場・不安定な立場にある等物価上昇の影響が特に大きい低所得者等への支援について「生活困窮者支援に関する緊急要請」を滋賀県に対し、行いました。



労働行政に対する要請行動を実施！

3月8日(水)に、誰もが安心して働ける社会の実現と総合的な労働政策の推進に向けて、滋賀労働局長に対して9課題・62項目についてまとめた要請書を提出しました。

その後、治療と仕事の両立支援に向けた就職支援ナビゲーターの増員対応や、各種労働施策の効果的な周知方法、外国人労働者の適切な雇用管理と労働条件の確保、労働災害・死亡災害の撲滅に向けた災害防止対策推進への対応等について意見交換を行いました。



滋賀県社会保険労務士会との意見交換会を開催！

当初1月24日(火)に開催を計画していましたが、雪の影響により3月3日(金)に琵琶湖ホテルにて開催しました。内容については、両者の活動の取り組みを紹介し、連合滋賀より滋賀県社会保険労務士会に対して、定期的な意見交換会の開催や社労士の不適切行為の予防と情報共有、36協定等の適切な締結と届け出等について要望を行いました。その後、連合滋賀の政策・制度要求の取り組み、社労士の不適切行為の事例対応、中学校教育への労働教育の進め方等について意見交換を行いました。



連合滋賀三役・執行委員、構成組織代表者、男女平等・青年・女性委員会を対象 ジェンダー平等推進計画学習会を開催！

連合滋賀は2021年12月より「ジェンダー平等推進計画フェーズI」(2021年12月～2024年11月)を策定し、女性・多様な人たちの組合参画、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現、それを通じての運動の活性化を目標に取り組みを進めています。

2月24日(金)に開催した学習会では、日本の雇用における男女の賃金格差や管理職比率、労働組合としてジェンダー平等・多様性推進に取り組む必要性と意義、春闘課題、女性役員を選出したことによる変化や好事例の取り組み等、幅広く講演をいただきました。また講演の中で、組合活動への女性参画を広げるためには「報告事項は会議の事前にメールで流しておく」「昼休みに短時間で開催する」「WEBの活用」など活動の在り方を見直し工夫する必要があるとも話されました。

意見交換では女性役員よりジェンダー平等・多様性推進、女性参画推進の取り組みにも関心を持っていただき、自組織でも広げていきたい。性別・年代等を越え様々な背景を持つ人が組合に入ることによって従来とは違った視点が入り組合活動が活性化される。誰もが参加できる組合活動の在り方や会議の方法を見つけて実践していくべき等ご活発な発言をいただき終了しました。



「ジェンダー平等・多様性推進の必要性と意義労働組合が取り組むべきこと～」
連合 井上久美枝 総合政策推進局長



連合「ジェンダー平等推進計画」 パンフレットのダウンロードはこちら フェーズI

- 達成目標 …必ず達成しなければいけない目標
- 推進目標 …推進すべき目標

	連合滋賀 (地方連合会)	構成組織	単組 (労働組合)
組合員の男女比を毎年調査し把握する	● 達成目標	● 達成目標	● 達成目標
女性役員(会計監査を除く)を選出する	● 達成目標	● 達成目標	● 達成目標
執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する	● 達成目標	○ 推進目標	○ 推進目標
運動方針に「『ジェンダー平等』の推進」と明記する	● 達成目標	● 達成目標	● 達成目標
大会や中央委員会等の議決機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する	○ 推進目標	○ 推進目標	○ 推進目標
「ジェンダー平等の推進」を目的とする委員会等の会議体を設置する	○ 推進目標	○ 推進目標	○ 推進目標
多様な人たちが多様な形態で参加できるように従来の活動スタイルを点検し、必要な見直しを行う	○ 推進目標	○ 推進目標	○ 推進目標